

令和8年度

事業計画

社会福祉法人

翠光園

## 創業理念

### 人間愛と人間の交わりの回復

白々と野をつらぬき走り、一筋の道を進まん。

清々しき朝に人間の交わりの回復があればと心から願う

## 基本理念

1. 敬愛と理解の精神を持ち、個人の人格および生活背景を尊重します。
2. 地域社会との交流を行い、社会福祉の充実・発展に寄与します。
3. 職員の資質の向上を図り、より充実したサービスの提供に努めます。

## 運営方針

法令遵守（コンプライアンス）の精神に基づき、透明性の高い安定した法人運営を行います。

利用者の尊厳保持に努め、心身共に健やかな日常生活を送るための環境づくりを推し進めます。

職員は、専門知識と技術の向上を図ると共に、社会人としての教養、福祉倫理を身に付けるよう研鑽に励みます。

地域社会との幅広い交流を行い、また医療機関とも連携を図り適切で充実したサービスを提供します。

施設見学や介護実習などを受け入れ、長年の福祉活動で培った知識・技術を地域社会に還元し、社会福祉発展に貢献します。

## 運営基本指針

### 利用者処遇

介護ニーズが多様化してきている利用者の生活が豊かなものであるよう、利用者及び家族の意思及び人格を尊重し、常にその人の立場に立った介護サービス計画を策定して適切なサービスを提供します。

在宅生活復帰を念頭に置き心身の機能向上を目指します。

尚、身体拘束については一切行わず、事故のリスクが大きい利用者においても見守りの徹底等身体拘束に替わる安全策を検討し実施します。

### 施設及び施設利用者の社会化、地域福祉への取り組み

老人ホームは、地域社会の社会資源としての役割を果たすと共に福祉教育の場としての役割も大きく期待されています。翠光園においても大学・専門学校生の実習の受入れや高校・小中学校生徒その他の福祉教育の場として施設設備や職員の技能を提供します。

地域社会の諸団体の見学や慰問・ボランティアも可能な限り受入れ、施設及び老人福祉への理解を深めていただくことに貢献し、リハビリ機器・会議室等の施設設備についても利用を開放し地域の社会資源としての役割を担います。

居宅介護支援、通所介護、訪問介護、訪問入浴介護、短期入所生活介護事業等それぞれの機能の充実を図ると共に、施設との有機的な連携により地域福祉の向上に寄与します。

施設利用者についても、積極的に地域行事に参加し交流を深め地域社会の一員として地域住民との融和に努めていきます。

### 職員の育成

職員の資質は施設運営に直接影響を持ち、その質の向上により利用者及び家族の要求に応えることができ、介護知識や技術はもとより職員の人間性の向上が大切と考えます。施設の理念の共に生きるということを各職員が理解し実践できるよう職員教育を実施します。

施設外研修に積極的に職員を派遣し福祉情報の収集や知識・技術の修得を図ると共に、施設内においても外来講師を招聘し講義・指導を頂き職員の資質、人間性・社会性の向上を図ります。

また、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等資格取得を目指す志を持った職員に対しては、積極的に支援を行っています。

## リスクマネジメント力の強化

施設の利用が、措置から契約に変わり利用者の意識が変化されており、処遇内容から職員の態度、特に介護事故についてはかかってない厳しさを追及されるようになりました。利用者処遇についてはできる限り安全に配慮した高い水準の介護サービスを提供し、家族には説明責任が十分に果たすことのできるよう記録を残すことに万全を期すると共に、万が一介護事故が発生した場合は誠意をもって損害賠償等の責務にあたります。

## 医療・看護

利用者の医療・看護に対する期待は高く、看護スタッフは嘱託医の指導、協力病院との連携、そして日常の親身な看護と衛生管理をとおしその期待に応えるよう努めます。

利用者の状態の変化に対する観察や療養の継続等健康を管理していくためには、看護・介護スタッフの連携は欠かせません。利用者の状態の情報収集や情報提供を相互に行うと共に介護の留意点の指導などを徹底し看護体制の充実を図ります。

毎日の利用者バイタルサインのチェック、利用者・職員の定期健康診断、職員の腰椎検査、毎月の職員の検便を実施します。

## 看取り

近い将来に死に至ることが予見される方に対し、その身体的・精神的苦痛をできるだけ緩和し、死に至るまでの期間、その人なりに充実して納得して生き抜くことができるよう日々の暮らしを営めることを目的とし、対象者の尊厳に十分配慮しながら心をこめて介護・看護を行います。

## 感染症予防

集団生活上もっとも危惧されるのがインフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス等の感染症の集団感染です。感染発生事前に行うべき対策、万一実際に発生した場合の対策を万全とし大切な利用者の健康・生命を守ります。

## 給食

衛生管理を徹底した調理場で旬の食材を使用し、嗜好調査・残食調査を実施し、利用者の好みにあった献立をおいしく提供するように努めることを基本とします。

栄養面のみならず、献立・味付けを工夫しておいしく、温かいものは温かく食感を大切に食事を提供し、特に、食材においては良質なものを揃えるため、仕入れ先等を厳選しています。

食卓に季節の花を飾り、厳選した食器を取り揃え、軽音楽を聴きながらくつろ

いだ雰囲気の中食事を楽しんでいただく環境作りを行い、バイキングや野外食・複数献立等食事提供方法に変化を持たせ気分を変えた楽しい食事を演出します。

残菜把握や自家農園栽培の野菜を効果的に使用し無駄を無くします。

利用者の燕下状態に合った食事を提供し、食事摂取状態の観察も怠らず誤飲等の食事内の事故を防止します。

## リハビリ・自立援助

利用者のリハビリニーズに対応できるよう職員のリハビリについての知識・技術向上のため研修会への派遣や自己学習を奨励し専門性の高い援助を行えるよう務めます。

職員の援助により毎日時間を決めて体操・個別リハビリを実施し、硬縮・硬直が進行している利用者にはベッドサイドにて可動域等の訓練を行います。

自立への援助に向けては、過度の介護により機能が低下しないよう、障害の程度・利用者の能力に応じた介護ニーズを適確に判断し、自律心を損なわれないよう励まし・見守りを加えながら介助を行います。また、自立補助具を適切に使用し自立向上のための環境を整備します。

## 余暇活動

利用者の生活に潤いと活力を持っていただくために、社会見学・野外散策等の屋外活動とレクリエーション・クラブ活動等の屋内活動、外来者を迎え入れでの交流会等を適宜に取り入れる。

尚、その場合利用者の心身の状態を充分考慮し、各部署の連携により個々の利用者の能力に合った活動を計画し実施にあたるよう心掛ける。

## 家族との連携

利用者にとってホームでの生活が安らかなものであるよう職員は心身両面の介護を行います。利用者の心理的・精神的安定に家族が果たす役割は見逃せません。出身家庭や親戚・知人との絆の維持のために家族を招待しての敬老会、お盆・年末年始の面会・帰省依頼、ふるさと訪問、及び状況に応じ適宜面会を要請し問題解決への協力要請を行います。また、面会時には職員がしばらく立会い利用者の近況等を伝え、面会者・職員・利用者の信頼関係の確立に努めます。

ご家族と施設の相互理解を深め利用者の方々に幸せな施設生活を送っていただくために、ご家族にも協力していただき個々の利用者にとって施設での生活が充実したものになるよう「家族会」を開催します。

利用者およびご家族の信頼を得るためにも、利用者の預かり金については3ヶ月毎にご本人・ご家族へ残額を報告し確認を得ています。又、利用者死亡

時における遺留金品の引渡しについては、ご家族と関係者の同席を得て引渡しを行います。

### 生活環境の保全及び衛生管理

生活環境は清潔と整理を第一とします。施設内外の清掃は毎日実施し、居室及びベッドサイドも日常的に清掃を行い清潔に保つ習慣をつける。尚、毎月衛生週間を設定し除草・消毒・窓拭き等を集中的に実施する。また、疥癬・MRSA・コロナウイルスなどの感染にについて予防・治療の知識の浸透や対策の充実を図っていきます。

### 防 災

火災・自然災害等による非常時に利用者の安全を確保し、施設の損害を最小限度に食い止めるために、定期的に危険個所の点検・改善に努めています。また、防災訓練は毎月実施し防災意識の徹底と避難誘導及び初期消火の要領を身に付けるよう努めています。

## 利用者の定例行事

1. 合同常会  
毎月1回開催し入居者・職員の意見交換を行う
2. 月例供養  
毎月21日に実施、物故者の合同供養を行う
3. 誕生会  
各月誕生日を迎えられた人を主賓に小宴会を開催
4. ふるさと訪問  
各入居者の出身地を訪問する
5. 会食  
元旦・ひな祭・端午の節句・村祭り・開園記念・クリスマス等を祝い会食を楽しむ
6. 社会見学  
小旅行(花見、神社参拝、遠足他)
7. 敬老祝賀会  
長寿と健やかな生活を過ごせることを祝う
8. ショッピング  
バスに乗り近隣のお店へ出かけ、買い物を楽しむ
9. クラブ活動  
音楽、手芸、書道、生花、おしゃれクラブ等好みや心身の状態に合わせ活動を行う

## 職員の定例会議・研修

1. 職員会議  
全職員参加にて毎月1回実施、情報提供・業務取組みへの意思統一・意見交換等
2. 衛生管理委員会  
職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境を形成するために必要な事項を定める
3. ケアカンファレンス  
施設長・相談員・看護師長・栄養士・特養主任介護職員・養護主任介護職員・養護もしくは特養全介護職員の参加にて毎月2回実施、ケアプラン作成のための検討を行う
4. 給食委員会  
調理内容、提供方法等給食向上のための検討を行う
5. 職員研修  
中小企業診断士の指導により職員の資質向上のための研修を偶数月に行う  
法定研修に対応したジョブメドレーを活用し、職員の能力向上に努める
6. その他の会議、研修  
感染症対策委員会、広報委員会、認知症処遇向上委員会、マニュアル検討委員会、  
事故防止対策委員会、特養入所判定会、身体拘束廃止委員会、生産性向上委員会、  
虐待防止委員会、養護ケア会議、特養ケア会議、人事考課研修、口腔ケア勉強会、  
防災(BCP)会議

令和8年度 年間行事計画書

月	季節行事	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	給食
4	桜見物	桜見物	野外活動	行楽弁当
	つつじ見物	丸岡公園・淡島神社	丸岡公園・淡島神社	高菜収穫(高菜漬け)
	胸部検診			玉葱収穫
5	端午の節句会食	運動会	野外活動	ちまき
	運動会		運動会	野外食
	花祭り		ドライブ	筍・にんにく収穫
6	土用の鰻会食	花菖蒲見物	花菖蒲見物	素麺流し
	花菖蒲見物	七夕飾り作成	野外活動	鰻飯
	健康診断		七夕飾り作成	梅漬け、なすび他収穫
7	七夕飾りつけ	七夕飾り作成	七夕飾り作成	七夕饅頭
	消防署立会夜間避難訓練	避難訓練参加	避難訓練参加	素麺流し
	谷水薬師参拝	谷水薬師参拝	谷水薬師参拝	
8	夏祭り	夏祭り	夏祭り	盆饅頭
	お盆供養	お盆供養	お盆供養	南瓜・オクラ収穫
				素麺流し
9	パチンコ大会	敬老祝賀会	敬老祝賀会	彼岸おはぎ
	敬老会	パチンコ大会参加	パチンコ大会参加	運動会弁当
	彼岸参り	観音様参拝	観音様参拝	デリバリーランチ
	運動会见物	運動会见物	運動会见物	
10	血液検査	運動会参加	運動会参加	行楽弁当
		お月見	お月見	レストランランチ
11	紅葉狩り・神社参拝	バスハイク	バスハイク	レストランランチ
	村祭り会食	神社参拝	神社参拝	白菜・大根収穫
	健康診断	野外活動	野外活動	
12	忘年会	忘年会	忘年会	餅つき
	開園記念祝賀会	迎春準備	迎春準備	鍋物
	ゆず湯・餅つき			レストランランチ
1	元旦会食	元旦会食	元旦会食	元旦会食
	新年会	新年会	新年会	七草粥
				鏡開き
2	節分(豆まき)	バスハイク	バスハイク	餅つき
	梅花見物	野外活動	野外活動	鍋料理
	野外活動			
3	ひな祭会食	桜見物(バスハイク)	桜見物(バスハイク)	彼岸おはぎ
	彼岸参り	観音様参拝	観音様参拝	会食メニュー
	消防署立会避難訓練		野外活動	

# 令和 8 年度 翠光園 事業計画

～ 質の高いケアと、健全な運営指標の達成に向けて ～

## 1. 収支の安定化（トラブルに負けない運営体制の構築）

感染症や物価高騰といった「想定外のピンチ」が起きても、すぐに立て直し、安定して経営を続けられる仕組み作り

重点項目	目標数値	具体的な取り組み
稼働率の維持	年間平均 95.0% 以上	感染症対策を徹底し、入院や利用控えを最小限に抑える
経費の精査	前年度比 3.0% 削減	物価高騰に対し、支出のムダを省き効率的な運営を行う
収支バランス	赤字リスク 0	稼働率の安定とコスト管理で、健全な経営を維持する

## 2. ICT 活用と業務効率化（「使いこなす」ことで負担を減らす）

介護ソフトの入替、ICT を「導入することが目的」ではなく、「全員が使いこなす、効率よく業務をすること」を目指す

重点項目	目標数値	具体的な取り組み
残業時間の削減	月平均 5 時間以内	ICT 活用と業務手順の見直しで、時間内完結を目指す
スキルアップ	活用レベル 100%	計画的な研修とマニュアル整備で、全員が操作をマスター
業務の標準化	不要な業務見直し	重複する記録や無駄な手順を廃止し、負担を軽減する

## 3. 事故防止対策（「気づき」で守る利用者の安全）

事故を未然に防ぐことを最優先し、「いつもと違う」という小さな気づきを全員で共有できる文化を育てる

重点項目	目標数値	具体的な取り組み
重大事故の防止	発生件数 0 件	日常の危険察知力を高め、未然防止を徹底する
情報の共有	ヒヤリ・ハット報告の活性化	事例を隠さず共有し、組織全体で改善策を話し合う
安心の提供	苦情件数の減少	安全なケアを通じて、利用者様とご家族の信頼を築く